



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月31日

上場会社名 中山福株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7442 URL <https://www.nakayamafuku.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 謹也  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役グループ管理本部長  
兼グループ事業部長兼経営企画部長 (氏名) 中川 敬夫 TEL 06-6251-7518  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無: 無  
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	9,764	5.7	△36	—	51	—	11	△61.8
2024年3月期第1四半期	9,238	△6.1	△101	—	△7	—	29	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 31百万円 (△85.5%) 2024年3月期第1四半期 215百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	0.57	—
2024年3月期第1四半期	1.50	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	33,294	22,261	66.9	1,151.66
2024年3月期	32,889	22,425	68.2	1,160.12

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 22,261百万円 2024年3月期 22,425百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	18,650	1.9	10	—	170	—	70	△12.1	3.62
通期	38,780	0.5	520	—	840	—	540	—	27.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	20,214,480株	2024年3月期	20,214,480株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	884,500株	2024年3月期	884,500株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	19,329,980株	2024年3月期1Q	19,314,073株

(注) 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式 (2025年3月期1Q 156,600株、2024年3月期156,600株) が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(2025年3月期1Q 156,600株、2024年3月期1Q 172,600株)。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第 1 四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第 1 四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当四半期の経営成績の概況

当第 1 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が徐々に改善し、インバウンド需要の増加等を背景として、緩やかな回復傾向がみられました。しかし、不安定な国際情勢の影響のもと、原材料やエネルギー価格の上昇、円安に伴う物価上昇等による消費者の節約志向が継続しており、依然として経済の先行きは不透明な状況が続いております。当社グループにおきましても原材料や仕入原価の上昇に加えて、政府施策に基づく社会情勢の変化の影響を受けて物流費が上昇する等、当社グループを取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、当第 1 四半期連結累計期間に「中山福グループ 新中期経営計画 NFG2026」を策定し、卸売事業、ものづくり事業など各種事業の強化、拡充、拡大に努めてまいりました。主に「家庭用品卸売事業」で市場の動向を分析、生活の質・豊かさの向上とライフスタイルに合った新規商品の企画・販売を推進し、それらの新しい売り場作りの提案を進めてまいりました。

これらの結果、営業面におきましては、主に「家庭用品卸売事業」の販売数が昨年実績を上回り、当第 1 四半期連結累計期間の売上高は97億64百万円（前年同期比5.7%増）となりました。損益面におきましては、グループ全社で販売価格の見直し・交渉を進めてまいりましたが、主に原材料価格の高騰や円安要因の影響によって仕入原価が上昇し、粗利率は低下しました。一方で、運賃の増加による影響は、物流面における作業効率化等によって人件費を抑制し、その他の経費削減を全社挙げて推進したことで販売費及び一般管理費の合計が減少した結果、営業損失36百万円（前年同期は営業損失1億1百万円）、経常利益51百万円（前年同期は経常損失7百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11百万円（前年同期比61.8%減）となりました。

商品分類別売上高につきましては、以下のとおりであります。

商品分類	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2023年 4 月 1 日 至 2023年 6 月 30 日)		当第 1 四半期連結累計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 6 月 30 日)		前年同期比 増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
調理用品	2,760	29.9	2,994	30.7	8.5
台所用品	988	10.7	1,077	11.0	9.0
サニタリー用品	1,110	12.0	1,311	13.4	18.1
収納用品・インテリア関連用品	1,141	12.3	1,186	12.2	3.9
行楽・レジャー用品	2,362	25.6	2,413	24.7	2.1
エクステリア用品・園芸用品	395	4.3	352	3.6	△10.9
家電用品・冷暖房用品	316	3.4	266	2.7	△15.8
ヘルスケア・シニア・ベビー用品等	162	1.8	163	1.7	0.2
合計	9,238	100.0	9,764	100.0	5.7

「調理用品」は、フライパン、包丁、鍋等を中心に29億94百万円（前年同期比8.5%増）となりました。「台所用品」は、保存容器、台所消耗品等を中心に10億77百万円（前年同期比9.0%増）となりました。「サニタリー用品」は、リビング清掃用品、浴室用品等を中心に13億11百万円（前年同期比18.1%増）となりました。「収納用品・インテリア関連用品」は、キッチン収納用品、衣装ケース・プラチェスト等を中心に11億86百万円（前年同期比3.9%増）となりました。「行楽・レジャー用品」は、ボトル・タンブラー、レジャー用品、ランチボックス等を中心に24億13百万円（前年同期比2.1%増）となりました。「エクステリア用品・園芸用品」は、DIY用品・内装資材用品、園芸用品等を中心に3億52百万円（前年同期比10.9%減）となりました。「家電用品・冷暖房用品」は、調理家電を中心に2億66百万円（前年同期比15.8%減）となりました。「ヘルスケア・シニア・ベビー用品等」は、ヘルスケア用品、シニア用品等を中心に1億63百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 家庭用品卸売事業

当事業では、家電用品・冷暖房用品、エクステリア用品・園芸用品の販売は前年同期を下回ったものの、調理用品、サニタリー用品等の販売は前年同期を上回りました。

その結果、売上高は「北海道」3億23百万円（前年同期比1.7%減）、「東北・関東」39億26百万円（前年同期比1.4%増）、「中部」8億65百万円（前年同期比20.8%増）、「近畿・中四国」24億15百万円（前年同期比13.2%増）、「九州・沖縄」13億58百万円（前年同期比5.7%増）となり、家庭用品卸売事業の売上高は88億90百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

セグメント利益又は損失は「北海道」△14百万円（前年同期はセグメント損失4百万円）、「東北・関東」82百万円（前年同期比11.1%減）、「中部」16百万円（前年同期比156.0%増）、「近畿・中四国」52百万円（前年同期比49.5%増）、「九州・沖縄」13百万円（前年同期比34.2%減）となり、家庭用品卸売事業のセグメント利益は1億50百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

② プラスチック日用品製造事業

当事業では、収納用品の販売は前年同期を上回ったものの、園芸用品の販売は前年同期を下回りました。その結果、売上高は5億3百万円（前年同期比0.7%減）、セグメント利益は23百万円（前年同期比58.3%減）となりました。

③ インテリア用品製造・販売事業

当事業では、インテリア関連用品の販売は前年同期を上回りました。その結果、売上高は3億36百万円（前年同期比4.1%増）、セグメント利益は1億円（前年同期比46.9%増）となりました。

④ その他

その他事業では、サンタリー用品、行楽・レジャー用品等の販売は前年同期を上回ったものの、収納用品・インテリア関連用品、調理用品、家電用品・冷暖房用品等の販売は前年同期を下回りました。その結果、売上高は1億30百万円（前年同期比17.9%減）、セグメント損失は1百万円（前年同期はセグメント損失5百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は207億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億36百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が89百万円、受取手形及び売掛金が7億70百万円、原材料が17百万円それぞれ減少したことと、電子記録債権が4億60百万円、商品及び製品が6億54百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は125億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億68百万円増加いたしました。これは主に無形固定資産が14百万円減少したことと、有形固定資産が1億69百万円、投資その他の資産が14百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は332億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億5百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は91億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億76百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が5億24百万円、未払法人税等が1億22百万円、賞与引当金が1億6百万円、未払金（流動負債のその他）が70百万円それぞれ減少したことと、短期借入金が15億円増加したことによるものであります。固定負債は18億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億8百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が96百万円、退職給付に係る負債が8百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は110億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億68百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は222億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億63百万円減少いたしました。これは主に剰余金の配当1億94百万円と、親会社株主に帰属する四半期純利益11百万円の計上、その他有価証券評価差額金の増加34百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は66.9%（前連結会計年度末は68.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月10日の「2024年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,438,782	6,349,275
受取手形及び売掛金	7,500,808	6,730,613
電子記録債権	1,570,783	2,030,830
商品及び製品	4,603,883	5,258,372
仕掛品	20,685	19,817
原材料	190,329	173,326
その他	142,013	141,328
流動資産合計	20,467,286	20,703,564
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,662,091	3,620,713
土地	2,516,342	2,516,342
その他(純額)	586,478	797,549
有形固定資産合計	6,764,912	6,934,606
無形固定資産		
のれん	103,320	89,231
その他	47,651	46,800
無形固定資産合計	150,971	136,031
投資その他の資産		
投資有価証券	4,373,878	4,435,483
その他	1,136,111	1,088,696
貸倒引当金	△4,100	△4,100
投資その他の資産合計	5,505,889	5,520,079
固定資産合計	12,421,774	12,590,717
資産合計	32,889,060	33,294,282

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,287,838	3,763,637
短期借入金	2,000,000	3,500,000
1年内返済予定の長期借入金	404,910	399,141
未払法人税等	178,142	55,303
賞与引当金	228,904	122,190
その他	1,356,862	1,293,356
流動負債合計	8,456,656	9,133,628
固定負債		
長期借入金	939,698	843,279
役員株式給付引当金	56,889	60,227
退職給付に係る負債	154,742	146,360
その他	855,902	849,216
固定負債合計	2,007,232	1,899,083
負債合計	10,463,889	11,032,711
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,706,000	1,706,000
資本剰余金	1,269,000	1,269,000
利益剰余金	17,320,624	17,136,840
自己株式	△434,719	△434,719
株主資本合計	19,860,904	19,677,120
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,098,159	2,132,265
退職給付に係る調整累計額	466,107	452,184
その他の包括利益累計額合計	2,564,266	2,584,450
純資産合計	22,425,171	22,261,570
負債純資産合計	32,889,060	33,294,282

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）
売上高	9,238,192	9,764,652
売上原価	7,390,694	7,896,995
売上総利益	1,847,498	1,867,657
販売費及び一般管理費	1,948,837	1,903,758
営業損失（△）	△101,339	△36,101
営業外収益		
受取利息	5	28
受取配当金	22,932	15,679
仕入割引	53,941	57,149
賃貸収入	9,900	9,455
その他	14,078	13,747
営業外収益合計	100,858	96,060
営業外費用		
支払利息	4,933	5,192
賃貸費用	1,559	1,672
その他	726	1,357
営業外費用合計	7,219	8,223
経常利益又は経常損失（△）	△7,700	51,734
特別利益		
投資有価証券売却益	70,000	—
特別利益合計	70,000	—
税金等調整前四半期純利益	62,299	51,734
法人税等	33,275	40,653
四半期純利益	29,023	11,081
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	29,023	11,081

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）
四半期純利益	29,023	11,081
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	191,093	34,106
退職給付に係る調整額	△4,660	△13,922
その他の包括利益合計	186,432	20,183
四半期包括利益	215,456	31,265
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	215,456	31,265
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

I 前第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					
	家庭用品卸売事業					
	北海道	東北・関東	中部	近畿・中四国	九州・沖縄	計
売上高						
外部顧客への売上高	329,391	3,866,631	716,131	2,133,376	1,285,583	8,331,113
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	5,705	—	—	—	5,705
計	329,391	3,872,336	716,131	2,133,376	1,285,583	8,336,818
セグメント利益 又は損失（△）	△4,977	92,730	6,498	34,809	20,296	149,357

	報告セグメント			その他 （注）1	合計	調整額 （注）2	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）3
	プラスチック 日用品製造事業	インテリア用品 製造・販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	425,235	322,448	9,078,798	159,394	9,238,192	—	9,238,192
セグメント間の内部売上高 又は振替高	81,611	1,151	88,469	—	88,469	△88,469	—
計	506,847	323,600	9,167,267	159,394	9,326,661	△88,469	9,238,192
セグメント利益 又は損失（△）	56,726	68,327	274,411	△5,010	269,400	△370,740	△101,339

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インターネット通信販売事業、輸出等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△370,740千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△367,709千円及びセグメント間取引消去等△3,030千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第 1 四半期連結累計期間（自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 6 月 30 日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					
	家庭用品卸売事業					
	北海道	東北・関東	中部	近畿・中四国	九州・沖縄	計
売上高						
外部顧客への売上高	323,754	3,922,855	865,418	2,415,827	1,358,495	8,886,350
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	4,127	—	—	—	4,127
計	323,754	3,926,982	865,418	2,415,827	1,358,495	8,890,477
セグメント利益 又は損失 (△)	△14,272	82,441	16,637	52,050	13,356	150,212

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プラスチック 日用品製造事業	インテリア用品 製造・販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	412,728	334,690	9,633,769	130,883	9,764,652	—	9,764,652
セグメント間の内部売上高 又は振替高	90,515	2,191	96,834	—	96,834	△96,834	—
計	503,244	336,881	9,730,603	130,883	9,861,487	△96,834	9,764,652
セグメント利益 又は損失 (△)	23,676	100,404	274,293	△1,902	272,390	△308,492	△36,101

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インターネット通信販売事業、輸出等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△308,492千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△307,722千円及びセグメント間取引消去等△769千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第 1 四半期連結会計期間から、報告セグメントごとの業績をより適切に反映させるため全社費用の配分方法の見直しを行っております。

なお、前第 1 四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第 1 四半期連結累計期間の配分方法に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第 1 四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第 1 四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2023年 4 月 1 日 至 2023年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 6 月 30 日)
減価償却費	85,515千円	85,740千円
のれんの償却額	18,812	14,089